

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		国語	科 目	論理国語	単 位 数	2
学年・科		2年・普通科・キャリア探究コース・総合				
教材	教科書	精選 論理国語（三省堂）				
	副教材					
学 習 目 標		多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。また、自ら学び自ら考える意欲を喚起して、主体的に生きていく力を育み、国語の力を育成する。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	一 論理国語へのいざない 論理力と思考力 納得の構造 二 「情報社会」を生きる I マルジャーナの知恵	- 思考力と対比して論理力とは何かを考える。 - 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする。 - 論理の組み立てと文章構成の関係について理解する。 - 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする。 「情報の商品化」という資本主義の現象を理解する。 - 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする。	期末 考查
2 学期	三 環境問題を考える 世代間倫理としての環境倫理学 学びを広げる 環境問題について考える 四 言葉をつめる I 言葉がつくる女と男 五 生命について考える ゲノム編集と iPS 細胞	- 未来世代への責任という観点から環境問題を考える。 - 関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする。 - 言葉とアイデンティティの関係について理解し、言語行為を通してどのようにアイデンティティが形成されていくかについて考察する。 - 生命科学の可能性と課題について考え、生命についての考えを深める。	期末 考查
3 学期	六 芸術について考える ミロのヴィーナス 八 「市民社会」について考える 「である」ことと「する」こと	- 設定した題材について、分析した内容を報告文などにまとめたり、仮説を立てて考察した内容を意見文などにまとめたりする。 - 社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。	進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じようとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から言葉や文章に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたり、辞書で確認したりしましょう。新書などを読んでみるのもよいでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		国語	科 目	文学国語	単 位 数	3
学年・科		2年・普通科・キャリア探究コース				
教材	教科書	精選 文学国語（三省堂）				
	副教材					
学 習 目 標		多様な見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。言語事項を総合的に学習し、国語に関する知識を深めることにより、国語に対する関心を高め、国際社会に生きる国語の力を獲得させる。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	一 小説の言葉・詩の言葉 夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について	・表題にある「物語の効用」とはどのようなことだろうか、話し合う。	中間考査 期末考査
	二 小説（一） 少年という名前のメカ 山月記	・「少年らしさ」に着目し、社会の「〇〇らしさ」について話し合う。 ・虎になる前の李徴はどのような人物だったか、その性格・生き方を中心にまとめる。	
	三 詩歌 私を束ねないで	・「わたし」は各連でそれぞれどのようなものにとえられているか。また、それらからどのような意味やイメージを受け取ることができるかまとめる。	
2 学期	四 小説（二） ひよこの眼	・「私」と「幹生」の関係はどのように変化していくか、 ・「私」の「幹生」への気持ち、「幹生」の「私」への態度からまとめる。	中間考査 期末考査
	五 翻案 ありときりぎりす 〔参考〕セミとアリ	・「ありときりぎりす」と「セミとアリ」を読み比べ、物語の形式（語り手、人称や視点、登場人物とその呼称）、ストーリー展開、描写のあり方について、その共通点と相違点を整理する。	
	七 小説（三） こころ	・「お嬢さん」に恋をしたことにより「K」の態度や様子はどのように変わったかまとめる。 ・「K」の自殺の原因について、話し合う。	
3 学期	七 小説（三） 捨てない女	・小説を書く過程でどのような「ゴミ」が出るのか、また「ゴミ」を出さないために「わたし」はどのような方法を思いついたか。それぞれ整理する。 ・「捨てない女」では、言葉や文字そのものが小説の展開上重要なはたらきをしている。印象に残った表現を抜き出し、そのはたらきについて話し合う。	学年末考査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、解釈している。 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から言葉や文章に興味・関心を持ちましょう。作者の他の作品を読んだり、教科書に取り上げられた作品を全文読んだりするのもよいでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		国語	科 目	古典探究	単 位 数	2
学 年 ・ 科		2年・普通科・キャリア探究コース・総合				
教 材	教科書	新編 古典探究（東京書籍）				
	副教材	新しい古典の学習2 in 1 スタイル 学ぶぞ 古文と漢文 大学入試 まめまめ古文単語300				
学 習 目 標		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	古文編1 随筆を読む 徒然草 方丈記 漢文編1 故事と小話 小話一四編 漢文編2 唐詩と文 文一二編	- 随筆に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 - 随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察する。 - 漢文の読み方を確認し、興味を持った内容を調べること - で理解を深める。 - 語句の意味や修辞に注意して、文章の内容を読み取る。 - 明確な主張を捉え、ものの見方や感じ方、考え方を広げる。	期末 考查
2 学期	古文編5 日記を読む 土佐日記 漢文編3 史記を読む 項羽と劉邦 古文編5 日記を読む 更級日記 漢文編3 史記を読む 項羽と劉邦	- 表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。 - 登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合う。 - 他の作品との関係も踏まえながら日記を読み、作者の心情を的確に捉える。	期末 考查
3 学期	古文編6 軍記物語を味わう 平家物語 漢文編4 中国の知恵 寓話一五編 古文編4 和歌の世界 小倉百人一首の世界『小倉百人一首』より	- 朗読などを通して、内容の解釈を深め、表現の特色について理解を深める。 - 寓話や故事成語から古代中国のさまざまな考え方に触れ、ものの見方や感じ方、考え方を深める。 - 和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深める。	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合おうとしている。 修辞などに注意しながら進んで文章の内容を読み取り、現代に通じる内容やテーマについて考察しようとしている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から言葉や文章、伝統文化に興味・関心を持ちましょう。同じジャンルの他の作品を読んだり、比べ読みしたりするのもよいでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		地理歴史	科 目	世界史探究	単 位 数	3
学年・科		2年・普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書	新詳 世界史探究（帝国書院）				
	副教材	新詳 世界史探究 演習ノート（帝国書院）				
学 習 目 標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1部 世界史へのまなざし 1章 地球環境からみる人類の歴史 2章 日常生活からみる世界の歴史 2部 諸地域の歴史的特質の形成 序章 古代文明の歴史的特質 1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質 2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質 3章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	人類の歴史と地球環境の関わりや日常生活と世界の歴史とのつながりを理解し、諸資料を活用した主題を設定し、人類の歴史や日常生活と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。 古代文明や諸地域の歴史的特質を理解し、それに関わる諸事象の背景や原因、影響、諸地域の相互の関わりなどに着目し、主題を設定して諸資料を読み解き、多面的・多角的に考察し、表現する。	中間 考查 期末 考查
2 学期	3部 諸地域の交流・再編 1章 ユーラシア大交流圏の成立 2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出 3章 主権国家体制の成立と交易の拡大 4部 諸地域の結合・変容 1章 環大西洋革命～工業文明と国民国家の誕生 2章 イギリスの覇権と欧米の国民国家建設 3章 世界の一体化の進展とアジアの変容 4章 世界の一体化の完成とその影響	諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、影響、諸地域相互の関わりなどを理解し、それに関する主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 諸地域の結合・変容に関わる諸事象の背景や原因、影響、諸地域相互の関わりなどを理解し、それに関する主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	中間 考查 期末 考查
3 学期	5章 世界大戦の時代 6章 戦後の国際秩序と冷戦 5部 地球世界の課題 1章 冷戦の展開と平和の模索 2章 グローバル化する国際経済とその課題 3章 情報と科学技術によって結びつく世界 4章 地球世界の課題と探究	地球世界における諸課題について理解し、それに関わる諸事象の背景や原因、影響、諸地域の相互の関わりなどに着目し、主題を設定して諸資料を読み解き、多面的・多角的に考察し、表現する。	学 年 末 考 査

評価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う記述課題などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	歴史を学ぶことを通じて、現在の国際社会が抱える諸課題に対応できる、基礎的な知識を習得することを目指しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		公民	科 目	公共	単 位 数	2
学年・科		2年・普通科				
教材	教科書	高等学校 新公共（第一学習社）				
	副教材	学習事項の整理と問題 新公共ノート（第一学習社）				
学 習 目 標		広い視野に立って、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、人間としての在り方・生き方について考える基礎的な力を養い、良識ある公民としての必要な能力を養うことを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 編 公共の扉 1 公共的な空間を作る私たち 2 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 3 公共的な空間における基本原理	現代社会を社会生活の面から捉える。 青年期の課題と私たちの社会への参加について考察する。 現代社会における地球環境問題・資源エネルギー問題さらに生命倫理などの諸課題についてその要因や取組について学習する。 哲学や宗教、先人の教えからよく生きることとは何かについて考察する。	中間 考查 期末 考查
2 学期	2 編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 1 法的な主体となる私たち 2 政治的な主体となる私たち 3 経済的な主体となる私たち	日本国憲法の成立とその基本原理を学習する。 現代の民主社会について学習し、私たちが国や地方の政治にどのように参加すべきかを考察する。 現代社会を政治の面から捉える。 民主政治の原理と成立の歴史、また、民主政治を推進するために果たすべきことについて学習する。 現代社会を経済の面から捉える。 経済とは何かを学習し、経済活動の中心を担う企業の活動を通して、日本経済の現状と課題を学習する。	中間 考查 期末 考查
3 学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 1 ケーススタディ	発展途上国と先進国との共生、自由や幸福を次の世代にわたって受け継ぐための課題について考察する。 グローバル化が進んでいる国際社会を経済・政治の両面から学習する。 世界から求められわが国の役割を理解し、共生社会の実現を目指して私たちがどのように行動すべきかを考察する。	学年 末 考查

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解していると同時に、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	現代社会の課題や構造について学ぶことで、公民として将来を生きる私たちに必要な知識を身に付けましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		数 学	科 目	数 学 II	単 位 数	2
学年・科		2年 普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
	副教材	新課程 Study-upノート 数学Ⅱ（数研出版）				
学 習 目 標		いろいろな式、図形と方程式、三角関数の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学 期	第1章 式と証明 第1節 式と計算	・多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について学習する。	中間 考 査
	第2節 等式・不等式の証明	・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	
	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	期 末 考 査
	第2節 高次方程式	・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	
2 学 期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	・座標や式を用いて直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。	中間 考 査
	第2節 円	・座標や式を用いて円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識したり、事象の考察に活用したりする。	
	第3節 軌跡と領域	・図形を与えられた条件を満たす点の集合として認識したり、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表したりすることを学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	期 末 考 査
3 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数	・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	学 年 末 考 査
	第2節 加法定理	・加法定理について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、三角関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成立することについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔明瞭・的確に表現したり図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。
アドバイス	日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		数 学	科 目	数 学 研 究 A	単 位 数	3
学年・科		2年 普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書	数学研究A（小松高校数学科編）				
	副教材	ステップアップノート数学Ⅰ+A				
学 習 目 標		数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、及び数学と人間の活動の基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学 期	第1章 数と式	- 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする。 - 不等式の解の意味や不等式の性質について学習し、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする。	中間考査
	第2章 集合と命題	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	期末考査
	第3章 2次関数	2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	
2 学 期	第4章 図形と計量	三角比の意味やその基本的な性質について学習し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、問題解決に三角比を活用できるようにする。	中間考査
	第5章 データの分析	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を学習し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、批判的に考察したりできるようにする。	期末考査
	第6章 場合の数と確率	場合の数や確率の意味や基本的な法則について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	
3 学 期	第7章 数学と人間の活動	さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深める。また、学習の中で、現実の事象を、数学を用いて考察できるようにする。	学年末考査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	各単元についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	条件や結論に着目し数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察し、判断する力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	考査・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価基準から総合的に評価します。
アドバイス	日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		理科	科 目	生物基礎	単 位 数	2
学年・科		2年 普通科 キャリア探究コース、文理探究コース（文系）				
教材	教科書	高校生物基礎（実教出版）				
	副教材	高校生物基礎エブリィノート、新コンセプトノート生物基礎				
学 習 目 標		日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察の基本的な技能を身に付ける。また、実験観察などを通して科学的に探究する力、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学 期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー 第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	- 生物の多様化と共通性について理解する。 - 細胞とその内部構造について、実験観察を通して学ぶ。 - 呼吸と光合成の概要から、生命活動のエネルギーと代謝について、また酵素の働きについて学習する。 - 光合成や呼吸とATPのはたらきについて理解する。 - DNAの構造や性質、DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を、研究史などを通して理解する。 - 体細胞分裂の際のDNAの複製と分配の仕組み、細胞周期との関係性を理解する。	中間考査 期末考査
2 学 期	2節 遺伝情報とタンパク質の合成 第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫	- 生命現象にはタンパク質が関わっていること、タンパク質はDNAの遺伝情報に基づき合成されることを学ぶ。 - 動物は内部環境としての体液をもち、体液は外部環境が変化しても一定に保たれていることを理解する。 - 恒常性と神経系と内分泌系の働きについて理解する。 - 血糖濃度調節のしくみと、起因する疾患について学ぶ。 - ヒトを中心に生体防御の仕組み、体液性免疫や細胞性免疫について理解する。 - 同じ疾患に再度かかりにくい理由を考察し、二次応答のしくみについて学習する。 - ヒトの身近な免疫疾患について理解を深める。	中間考査 期末考査
3 学 期	第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	- 生物が地球上の様々な環境に適応することにより生態系の多様性がもたらされていることを理解する。 - 遷移が進行する理由について学び、周囲の環境について考察する。 - 地球上には多くのバイオームが成立している理由について学習する。 - 人為的攪乱により生態系のバランスが崩れる場合があることを理解する。 - 生態系の保全の重要性について認識する。 - 自然環境の保全に寄与する態度を育てる。	学年末考査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象についての探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、仮説の設定、実験の計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して適切に表現する力が身に付いている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとするなど、科学的に探究する態度が身に付いている。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、実験観察の技能や態度、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの生物や生物現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		理科	科 目	地学基礎	単 位 数	2
学年・科		2年 普通科 キャリア探究コース 総合 文理探究コース 文系				
教材	教科書	高校地学基礎 (実教出版)				
	副教材	ビジュアルプラス地学基礎ノート (実教出版) 、地学学習帳 (高教研理科部会地学部門)				
学 習 目 標		日常生活や社会との関連を図りながら、地球科学についての理解を深め、科学的に探究するために必要な実験、観察の基本的な技能を身に付ける。また、地球環境問題や自然災害などを通して自然の貴重さに気付き、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1学期	第1章 地球の構成と運動 1節 地球の構造 2節 プレートの運動 3節 地震と火山	- 地球の大きさの計算方法を学び、理解を深める。また、地球の詳細な形について学ぶ。 - 地球表面の地形や地震・火山活動の起きている場所から地球表面がプレートで覆われていることを学び、プレートテクトニクスを理解する。 - 地震・火山活動について理解を深め、自身の防災・減災活動に活用するような姿勢を育む。	中間 期末 考查
2学期	第2章 大気と海洋 1節 大気の構造と運動 2節 大気の大循環 3節 海洋の構造と海水の運動 4節 日本の四季の気象と気候 第3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生 2節 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長	- 大気の構造について学び、流体としての大気の運動を理解する。 - 地球の熱収支を理解し、地球表面で生じている大気の大循環を説明できるようにする。 - 日本の四季の気象について気圧配置や気象現象を学ぶ。 - 宇宙の誕生について、太陽系や地球の誕生との時間的、空間的スケールの違いを踏まえながら学び、自身と宇宙とのつながりを理解する。	中間 期末 考查
3学期	第4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層のでき方 2節 化石と地質時代の区分 3節 古生物の変遷と地球環境 第5章 地球の環境 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	- 地層のでき方や化石のでき方について学び、地層や化石が地球環境の変遷を証拠として残すことを理解する。 - 地球環境の変遷を学び、今後の地球環境の変化を予測し、対応する姿勢を養う。 - 現在の地球上の環境問題について学び、この社会を構成する一員として環境問題を改善する姿勢を身に付けたり、実践する意欲を養ったりする。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、地球科学についての観察実験を行い、基本的な概念や原理・法則を理解している。また、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	地球科学についての探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、仮説の設定、実験の計画及び検証、データ分析、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書の作成や発表を通して適切に表現する力が身に付いている。	地球科学に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとしている。その際、自然環境の保全に寄与する態度が身に付いている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、実験観察の技能や態度、授業に取り組む姿勢などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	自分の身の回りの地球科学の現象に関心を持ち、授業で学んだ原理や法則が日常生活や普段見聞きする自然現象、社会現象とどのように関係しているか、考えながら生活しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		保健体育	科 目	体育	単 位 数	2
学年・科		2年 普通科				
教材	教科書	現代高等保健体育				
	副教材					
学 習 目 標		体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学 期	1 オリエンテーション	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて学習する。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。 ・運動やスポーツにおける効果的な学習の仕方について学習する。	
	2 体づくり運動		
	3 選択制授業1 ソフトボール、テニス、バドミントン、バレーボール		
	4 体育理論1 スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術		
2 学 期	5 選択制授業1	・健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことについて学習する。 ・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。 ・運動やスポーツの技能の上達過程の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法について学習する。	
	6 体づくり運動		
	7 選択制授業2 サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン		
	8 体育理論2 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム		
3 学 期	9 ウォークラリー	・ペースの変化に対応して走り、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法などについて学習する。 ・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。 ・運動やスポーツを行う際の、さまざまな危険の予見や回避について学習する。	
	10 陸上競技		
	11 選択制授業3 サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン		
	12 体育理論3 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保		

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価方法	学習カードやスキルテスト、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生涯にわたって運動を豊かに継続することができるよう、体を動かすことの心地よさや、仲間と協力して活動することの楽しさを味わいましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		保健体育	科 目	保健	単 位 数	1
学年・科		2年 普通科				
教材	教科書	現代高等保健体育（大修館）				
	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館）				
学 習 目 標		保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	3単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康	・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯の各段階における健康や労働と健康について学習する。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考判断し、表現することについて学習する。	期末 考查
2 学期	7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 4単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について学習する。	期末 考查
3 学期	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医療品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考判断し、表現する方法について学習する。	学年 末考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、応急手当の技能が身に付いているか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	保健体育にかかわる大切な知識を理解し、自分自身の生活と学習内容を結び付けることで、社会や世界とのかかわり方や、より良い人生を送る方法について考えてみましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		芸術	科 目	音楽Ⅱ	単 位 数	2
学年・科		2年 普通科 キャリア探究				
教材	教科書	音楽Ⅱ Tutti+（教育出版）				
	副教材					
学 習 目 標		音楽Ⅰの学習経験を基盤として、質的に高めた音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とより深く関わる資質・能力を育成する。 主体的・協働的な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音や音楽のよさや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	オリエンテーション —クラスの歌声を響かせよう— 歌の旅に出よう2 —各国の歌曲をとおして— オーケストラの魅力を探ろう —バイオリンの演奏を通して—	- 音楽Ⅱの学習目標や学習計画を確認する。また、なじみのある J-POP の歌を、歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら歌い、音楽Ⅱの学習意欲を高める。また、楽曲に込められた思いと、楽興の構造などについて深く考える。 - 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらの関わりによって生み出される表現上の効果について考える。 - バイオリンの奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏し、楽器の魅力を味わう。また、オーケストラの様々な楽器による表現上の効果を理解し、そのよさや美しさを味わう。	実技試験・筆記試験
2 学期	西洋音楽史 古典派の音楽 ロマン派の音楽 ポピュラー音楽とは何か —DTMを活用して—	- 音楽鑑賞を通して、西洋音楽を体系的にまとめる。それぞれの時代の作風や楽器の変遷などを知ること、より高い鑑賞の力を身に付け、現代の音楽とのつながりについて考える。 - DTMの基礎的な知識・技能を踏まえ、動機から音楽を創る技能を身に付け、創作で表現する。	実技試験・筆記試験
3 学期	世界の諸民族の音楽 自由課題研究	- 世界の音楽や踊り、発声法や楽器について知ること、音楽の幅を広げる。 1年間の音楽学習のまとめとして発表会を企画実施する。音楽Ⅱで学習した知識・技能を応用して、グループごとに発表し合う。	実技試験・筆記試験

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法などの技能を身に付けている。	音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに表現を創意工夫している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、深く味わって聴いている。	歌唱や器楽に関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 紹介文を作成してプレゼンテーションすることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 音楽表現や音楽文化に関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	授業中の筆記試験や実技試験のほか、課題や作品などの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	普段から芸術に興味を持ち、幅広く音楽作品を聴くようにしましょう。音楽用語などの知識をコツコツ覚えることと、のびのびと豊かに表現することが求められます。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科	芸術	科 目	美術Ⅱ	単 位 数	2
学年・科	2年 普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書	高校生の美術2（日本文教出版）			
	副教材				
学習目標		1 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うことを目指します。 2 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標とします。			

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	オリエンテーション	・美術Ⅱの学習について	作品・レポート・ワークシート
	1 デザイン	・ポスターを考える。 ・デザインがもたらす統一感 ・伝えることと表現方法 ・アイディアスケッチ ・レイアウトと構成 ・作品鑑賞	
2 学期	2 絵画	・油彩画の歴史 ・油彩画の特徴と技法 ・人物のイメージや心情を表す ・鉛筆デッサン ・形をとらえる ・着色 ・仕上げと鑑賞	作品・レポート・ワークシート
	3 鑑賞	・作家探究	
3 学期	4 彫刻・デザイン	・身近な材料で表す ・素材研究	作品・レポート・ワークシート

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して総合的に評価します。
アドバイス	制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問してください。美術系進路を考えている人は早めに相談に来てください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		芸術	科 目	音楽研究B	単 位 数	2
学年・科		2年普通科 キャリア探究コース 総合				
教材	教科書					
	副教材	音楽通論、こどものうた200、標準バイエルピアノ教則本				
学 習 目 標		ピアノ演奏や歌唱の練習を通して、保育に関する音楽・リズム表現技術の向上を目指します。 保育検定3級合格を目標に、ピアノ奏法、ソルフェージュの基礎を身に付けます。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	バイエルNo. 30～47 童謡歌唱（無伴奏）	ピアノ演奏の基礎的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の基礎的な表現技術を身に付ける。 基礎的な音楽理論を身に付ける。 ・ピアノの基本的奏法に興味や関心を持ち、個人練習により演奏技術を身に付ける。 ・楽譜の構成要素を理解し、ソルフェージュ能力を高める。	実技試験
2 学期	バイエルNo. 48～78 童謡歌唱（無伴奏） 音楽通論	ピアノ演奏の応用的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の応用的な表現技術を身に付ける。 ・ピアノの基本的奏法に興味や関心を持ち、個人練習により演奏技術を身に付ける。 ・楽譜の構成要素を理解し、ソルフェージュ能力を高める。 ・音楽理論の基礎を身に付ける。	実技試験
3 学期	バイエルNo. 79～104 童謡歌唱（弾き歌い） 音楽通論	ピアノ演奏の発展的な表現技術について身に付ける。 童謡歌唱の発展的な表現技術を身に付ける。 ・簡単な伴奏により、弾き歌いができる能力を身に付ける。 ・楽曲の特徴を捉え、より豊かに表現する方法を体得する。 ・音楽理論を深く理解する。	実技試験

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	ピアノの演奏及び歌唱の練習を通して、保育に関する音楽・リズム表現技術を身に付けている。 曲にふさわしい奏法、歌唱法を身に付け、演奏に生かしている。 音楽理論に関する基礎的な知識を理解している。	保育の実際を想定した歌唱方法やピアノの演奏方法を理解し、どのように表現するか意図を持っている。 自分と幼児との関りや、音楽が人格形成に与える影響を考え、豊かな表現を工夫しようとする。	ピアノ奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながら演奏活動をするに関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、意欲をもって歌唱しようとする。

評価方法	授業中の筆記試験や実技試験のほか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	家庭でのピアノの練習が必要になります。（キーボードでも構いません。）また、音楽用語などの知識をコツコツ覚えることと、のびのびと豊かに表現することが求められます。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科	芸術	科 目	美術研究B	単 位 数	2
学年・科	2年 普通科 キャリア探求コース 総合				
教材	教科書	美術 表現と鑑賞 (開隆堂出版)			
	副教材				
学習目標		1 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うことを目指します。 2 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、専門的で個性豊かな美術の能力を高めることを目標とします。			

	教材内容	学習内容	考査
1 学 期	オリエンテーション	・美術研究Bの学習について	作品・レポート・ワークシート
	1 表現1 2 鑑賞1	・鉛筆で描く ・木炭で描く ・絵の具で描く ・日本の美術 ・世界の美術	
2 学 期	2 表現2	・平面構成 ・文字のデザイン ・イラストレーション ・パッケージデザイン	作品・レポート・ワークシート
	3 鑑賞2	・ポスターのデザイン ・生活を彩るデザイン	
3 学 期	4 表現3	・空想の世界を描く ・いろいろな画材 ・技法研究	作品・レポート・ワークシート

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して総合的に評価します。
アドバイス	制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問してください。美術系進路を考えている人は早めに相談に来てください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		外国語	科 目	英語コミュニケーションⅡ	単 位 数	2
学年・科		2年・普通科 キャリア探究コース				
教材	教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）				
	副教材	All Aboard! English Communication Ⅱ WORKBOOK（東京書籍）				
学 習 目 標		外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、一定の支援を活用すれば、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる能力を養う。				
	教材内容		学習内容			考査
1 学 期	Pre-Lesson	My Plans for This Year	・助動詞＋動詞の原形 ・to 不定詞			中 間 考 査 期 末 考 査
	Lesson 1	A Colorful Island	・関係代名詞 what			
	Lesson 2	With the Beatles	・比較 more・the most を用いた文			
2 学 期	Lesson 3	Wild Men	・It is ... (for) to～ ・It is ... that～			中 間 考 査 期 末 考 査
	Lesson 4	Little Hero	・間接疑問文			
	Lesson 5	Special Makeup in Kabuki	・to 不定詞			
3 学 期	Reading 1	Mujina	・登場人物の気持ちになって暗唱する。			学 年 末 考 査
評 価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。		・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。		・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
評価方法		定期考査のほか、実力テスト、授業での小テスト、パフォーマンステスト、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に判断します。				
アドバイス		辞書を用意して、自ら学ぶ準備を整えておきましょう。				

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2
学年・科	2年・普通科キャリア探究コース（総合）、文理探究コース				
教材	教科書	My Way Logic and Expression II（三省堂）			
	副教材	My Way Logic and Expression II WORKBOOK（三省堂）			
学習目標		話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕及び書くことの三つの領域を中心とした総合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、一定の支援を活用すれば、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして相手に伝える、又は相互に伝え合うことができる能力を養う。			

	教材内容	学習内容	考查
1学期	Lesson 1 I Love My Country! Lesson 2 The New Wave of Sports Lesson 3 The Future of Technology	・現在完了形、過去完了形 ・未来を表す表現 ・助動詞表現(used to, should など) ・助動詞+have+過去分詞、be 動詞+to 不定詞 ・受動態 ・不定詞①	中間 考查 期末 考查
2学期	Lesson 4 Rediscover <i>Kabuki</i> Lesson 5 Will Our Lives Change with ALT? Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	・不定詞② ・知覚動詞、使役動詞 ・動名詞 ・分詞構文、with+O+分詞 ・比較① ・比較② ・関係代名詞、関係副詞① ・関係代名詞、関係副詞②	中間 考查 期末 考查
3学期	Lesson 8 Language and Society Lesson 9 Send Our Love to the World Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	・仮定法① ・仮定法② ・否定の表現 ・代名詞を使った表現 ・無生物主語構文 ・that を使った表現	学年 末 考查

評価 の 観点 の 趣 旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 ・目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたり伝え合うことができる技能を身に付けている。	・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、自律的・主体的に表現しようとしている。 ・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、自分の意見や考えなどを整理し、多様な語句や文を用いて、詳しく話したり書いたりして伝え合おうとしている。

評価方法	定期考査のほか、授業での小テストやパフォーマンステスト、課題への取組や授業態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	間違いを恐れずに、積極的に英語を話したり書いたりするように努めましょう。日頃から外国の文化やニュースにも関心を持ちましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		外国語	科 目	英語研究A	単 位 数	2
学年・科		2年・普通科 キャリア探究コース(総合)				
教材	教科書	Info.box 2024-25 for ELEMENTARY English Learners (株式会社エミル出版)				
	副教材					
学 習 目 標		時事的な教材を通して、読むこと、書くこと及び話すこと〔発表〕の三つの領域を中心とした発信能力を育成する。特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、段落の要約を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして相手に伝える、又は相互に伝え合うことができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学 期	Topic 1 Paris 2024	○ 文の種類・動詞 ・大会の目標と新採用種目	中間 考 査 期 末 考 査
	Topic 2 2024 Noto Earthquake	○ 仮定法 ・能登地震の被害状況とその後	
	Topic 3 Heralbony	○ 受動態 ・ヘラルボニーの内容と目標	
2 学 期	Topic 4 World Population : Going Up or Down?	○ 比較 ・少子化の課題と世界人口の推移	中間 考 査 期 末 考 査
	Topic 5 Akira Toriyama	○ 不定詞 ・鳥山明の功績	
	Topic 6 Ice in the Antarctic	○ 助動詞 ・南極の氷の今後について	
	Topic 7 Umeko Tsuda	○ 分詞・動名詞 ・津田梅子の一生	
3 学 期	Topic 8 Overtourism	○ 関係代名詞・接続詞 ・ツーリストシップ	学 年 末 考 査
	Topic 9 Are there UFOs?	○ 完了形 ・NASA の報告書と UAP	
	Topic 10 About World Heritage Sites	○ 時勢 ・世界遺産の始まりとウエニ塩湖	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙、表現、文法の知識を身に付けている。 ・外国語の音声、語彙、表現、文法を、聞くこと・読むこと・話すこと〔やり取り・発表〕・書くことによる実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	・場面・目的・状況等に応じて、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、外国語を用いて、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・他者を尊重し、聞き手・読み手に配慮しながら、外国語で自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

評価方法	定期考査のほか、授業での小テストやパフォーマンステスト、課題への取組や授業態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	間違いを恐れずに、積極的に英語を話したり書いたりするように努めましょう。日頃から外国の文化やニュースにも関心を持ちましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		情 報	科 目	情 報 I	単 位 数	2
学 年 ・ 科		2 年 ・ 普通科				
教 材	教科書	新編 情報 I （東京書籍）				
	副教材	新編 情報 I 準拠ノート（東京書籍）				
学 習 目 標		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	オリエンテーション 1章 情報で問題を解決する 1 情報とメディアの特性 2 問題解決の流れ 3 発想法 4 情報モラル 5 個人情報の流出 6 傷つかない傷つけない 7 著作権 8 情報技術の発展 9 情報化と私たちの生活の変化 10 よりよい情報社会へ 2章 情報を伝える 1 コミュニケーション手段の変化 2 ネットワークコミュニケーションの特徴 3 デジタルの世界へ 4 数値と文字のデジタル表現	・学習目標とシラバス、情報処理教室の使用の仕方について知る。 ・情報の特性から、情報とは何かを理解する。 ・さまざまなメディアの特性を理解する。 ・問題を発見、解決するための一連の流れを理解する。 ・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 ・著作権について理解する。 ・人工知能やロボットなどの情報技術と生活の変化を理解する。 ・メディアとコミュニケーションの変遷について学習する。 ・ネットコミュニケーションの特性について学習する。 ・デジタルデータとは何かを学習する。	期末 考查
2 学期	5 音と画像のデジタル表現 6 色と動画のデジタル表現 7 目的に応じたデジタル化 8 情報デザイン 9 ユニバーサルデザイン 10 情報デザインの流れ 3章 1 コンピュータとは何か 2 ソフトウェアの仕組み 3 演算の仕組みとコンピュータの限界 4 アルゴリズムの表現 5 プログラムの基本構造 6 発展的なプログラム 7 モデル化とシミュレーション 8 シミュレーションの活用	・音、画像、動画のデジタル化について学習する。 ・デジタルでの色の原理を理解する。 ・情報デザインとは何かを学習する。 ・情報デザインの方法を使ってわかりやすい文章を作成する。 ・ユニバーサルデザインについて学習する。 ・情報デザインのプロセスを理解し、活用する方法を身に付ける。 ・コンピュータの基本構造について理解する。 ・プログラムの動作の仕組みについて学習する。 ・アルゴリズムの必要性を理解し、表現方法について学習する。 ・プログラムの作り方について学習する。 ・モデル化の考え方と、モデルの分類について学習する。 ・テーマを決め、表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う。	期末 考查
3 学期	4章 1 ネットワークとインターネット 2 インターネットの仕組み 3 サーバとクライアント 4 インターネット上のサービス 5 情報セキュリティ 6 データの形式 7 データベースの活用 8 さまざまなデータモデル 9 データ分析の流れ 10 目的に合わせたデータの利用	・情報通信ネットワークとは何かを学習する。 ・プロトコルと、その1つとしてのTCP/IPについて学習する。 ・サーバの役割について学習する。 ・インターネットでのIPアドレスとDNSの役割を学習する。 ・情報セキュリティの機密性、完全性、可用性を理解する。 ・データとは何かを学習する。 ・データベースの役割がどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データ分析の流れと方法を学習する。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

評価方法	3つの観点の達成度を「定期考查」「実技テスト」「実習の課題」「実習や授業の態度」等を基に総合的に評価します。
アドバイス	授業では、これからの情報社会を生きていくうえで必要なことを学習します。情報モラルや情報リテラシーをしっかりと身に付けられるように取り組んでください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科 科		商業	科 目	ビジネス基礎	単 位 数	2
学年・科		2年・普通科・キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書	ビジネス基礎（実教出版）				
	副教材					
学 習 目 標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成する。ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。見方、考え方、感じ方にふれ、物事を総合的に捉えることのできる、幅広い人間性、豊かな感性と判断力を育てる。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 商業の学習とビジネス	・ 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学び必要な豊かな人間性、他者と協働する力を身に付けます。	中間 考查 期末 考查
	第2章 ビジネスとコミュニケーション	・ ビジネスマナーの意義を理解し、場面に応じて考え、活動できる力を身に付けます。企業活動における情報の重要性について理解し、情報の活用及び評価・改善を行います。	
	第3章 経済と流通の基礎	・ 経済の仕組みと流通の必要性について理解します。経済の基本概念、流通の役割など経済と流通に関する知識を基盤として、流通に関する課題を発見し、その解決方法を考えます。	
2 学期	第4章 さまざまなビジネス	・ ビジネスの種類について理解し、流通や流通に関わる様々なビジネスについて学びます。流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考えます。	中間 考查 期末 考查
	第5章 企業活動の基礎	・ 企業活動の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に必要な知識を学びます。企業活動に関する知識を基に、企業活動の動向など、企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考えます。	
	第6章 ビジネスと売買取引	・ 売買取引、代金決済など取引に関する知識や技術を学びます。取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考えます。	
3 学期	第7章 ビジネス計算	・ ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身に付けます。	学 生 末 考 査
	第8章 身近な地域のビジネス	・ さまざまな地域のビジネスに関する知識などを基に、身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、その対応策を考えます。ビジネスの振興による地域の発展について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。	

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

評価方法	(知識・技能) テスト (思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 観察シート、議事録、ワークシート、授業に取り組む姿勢・態度などを考慮して、総合的に評価します。観点別に評価し、評定はこれを総括する。
アドバイス	日頃からビジネスをはじめとする経済活動に興味・関心を持ちましょう。そのためには買い物に同行し、市場調査を行うなど、社会の変化に敏感になることもよい勉強になるでしょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科	商 業	科 目	簿 記	単 位 数	3
学年・科	2年 普通科 キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書	高校簿記（実教出版）			
	副教材				
学 習 目 標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (2) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			

	教材内容	学習内容	考查
1 学 期	第1編 簿記の基礎	・ 簿記の意味・目的・役立ちなどを理解し、学習の心構えを養う。	中 間 考 査 期 末 考 査
	第1章 企業の簿記	・ 資産・負債・資本のそれぞれの意味と種類を理解する。	
	第2章 簿記の要素	・ 取引によって資産・負債・資本の増減から、期首と期末の財政状態に変化が生じ、その差額が純損益であることを理解する。	
	第3章 取引と勘定	・ 収益・費用のそれぞれの意味と種類を理解する。	
	第4章 仕訳と転記	・ 勘定・勘定科目・勘定口座の意味、勘定の種類を知る。	
	第5章 仕訳帳と総勘定元帳	・ 取引要素の結合関係を理解する。	
	第6章 試算表	・ 試算表と貸借平均の原理の関係について、図を使って理解する。	
	第7章 決算	・ 決算の必要性・重要性を記帳手続きの全体の中で理解する。	
	第2編 取引の記帳と決算Ⅰ	・ 精算表の意味を理解させ、その作成法を習得する。	
	第8章 現金・預金の記帳	・ 帳簿決算の意味とその手続きを理解させ、決算を正確に行う方法を習得する。	
	第9章 商品売上の記帳	・ 繰越試算表の意味を理解させ、その作成法を習得する。	
	第10章 掛け取引の記帳	・ 残高試算表から複式簿記のしくみを理解する。	
2 学 期	第11章 固定資産の記帳		中 間 考 査 期 末 考 査
	第12章 決算（その1）		
	第3編 取引の記帳と決算Ⅱ	・ 約束手形と為替手形の違いを理解させ、これらの手形の授受に伴う記帳法を習得する。	
	第13章 手形取引の記帳	・ 貸付金と借入金、手形貸付金と手形借入金、営業外受取手形と営業外支払手形、前払金と前受金、未収入金と未払金の各勘定の意味を理解させ、記帳法を習得する。	
	第14章 有価証券の記帳	・ 資本金の増減に関する記帳法と引出金の意味を理解させ、資本金と関連させて記帳法を習得する。	
	第15章 その他の債権・債務の記帳	・ 帳簿の種類と、帳簿組織およびそれらと分課制度との関係、帳簿組織の立案について理解する。	
	第16章 販売費及び一般管理費の記帳	・ 伝票のはたらきと種類を理解する。	
	第17章 資本金の記帳		
	第18章 決算（その2）		
	第4編 帳簿と伝票		
3 学 期	第19章 帳簿		学 年 末 考 査
	第20章 仕訳伝票と3伝票制		
	分野別の復習	・ 分野別に全商簿記実務検定試験対策演習を行い、基礎・基本的事項を理解する。	
	・ 仕訳 ・ 伝票 ・ 記帳 ・ 決算	・ 現代社会で企業がその活動を適切に、効率よく行うために、簿記の流れとしくみを理解する。	

評 価 の 観 点 の 趣 旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	簿記の基本的なしくみについて理解している。また、企業における取引の記録・計算・整理に関する基礎的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、適切に処理する。	企業における取引の流れに関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。また、その成果を的確に表現する。	簿記について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、責任をもって取り組もうとしている。

評価方法	定期考査のほか、実力テスト、授業での小テスト、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に判断します。
アドバイス	日本経済の発展に重要な役割を果たしてきたのが、簿記であることを理解し、粘り強く記帳の練習に励む態度を養うことは、将来、みなさんが社会人として生活していくうえで、大いに役立ちます。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教 科		商 業	科 目	情報処理	単 位 数	3
学年・科		2年 普通科 キャリア探究コース ビジネス				
教材	教科書	情報処理 Prologue of Computer (実教出版)				
	副教材					
学 習 目 標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 2節 情報モラルと法規 3節 コミュニケーションと情報デザイン 2章 コンピュータシステムと情報処理ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 2節 情報処理ネットワークのしくみと構成	・身近な事例を基に情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解させる。社会で利用されている情報システムの例や、ビジネスにおける情報活用の実践を学ぶことにより、情報の処理や活用の重要性を理解する。 ・情報処理に関わる職業や仕事を学ぶことにより、ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する。 ・情報の重要性を理解し、情報を分析して、傾向を把握する能力を身に付ける。	期末 考查
2 学期	3節 インターネットの活用 4節 情報セキュリティの確保 3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計 2節 関数を利用した表の作成 3節 グラフの作成 4節 情報の整列・検索・抽出 5節 問題の発見と解決の方法 特集 トレース	・ウェブページを活用して情報検索・収集方法を理解する。 ・情報セキュリティの重要な役割を理解し、その知識と技術を身に付ける。 ・基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。 ・大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために、表計算ソフトのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解する。	期末 考查
3 学期	4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現 2節 基本文書の作成 ① ワープロの操作と入力方法 ② ワープロを利用した文書の作成 ③ 社外文書 ④ 社内文書 3節 応用文書の作成 ① 表計算を含んだ文書の作成 ② 表計算とグラフを含んだ文書の作成 5章 プレゼンテーション 1節 プレゼンテーションの技法 2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション 特集 トレース	・文書情報がコミュニケーションの重要な手段として、ビジネスの諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する。 ・文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領について理解する。 ・基本的な社内文書や社外文書を取り上げて、作成に関する知識と技術について理解する。 ・応用的な文書の作成に関する知識と技術について理解する。 ・ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付ける。 ・目的や形態によるプレゼンテーション方法の違いについて理解させるとともに、プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動について理解を深める。	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	日頃から情報収集・発信に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたことを、表やグラフにまとめて分析する力をつけましょう。